

# 清掃技能検定<テーブル拭き>評価表(十訂版)

【制限時間：7分00秒(標準時間：5分00秒)】

【評価のポイント】  
 ○安全で、衛生的で、効率的に清掃作業ができたか ○テーブルをタオルできれいに拭けたか

※制限時間：検定時間(制限時間を超えると試技の途中でも検定は終了となります)  
 ※標準時間：効率のよい作業としての目安時間(標準時間を超えると「効率のよい作業」の評価対象となります)

検定日：令和 年 月 日( ) ( )立( )特別支援学校( ) 生徒氏名( )

級	検定の流れ	項目番号	評価項目	評価内容(できていない箇所に☒する)	評価	審査員等のセリフ 留意事項等
10級 ～ 9級	資機材 準備	1	<b>服装等</b> <input type="checkbox"/> 適切な服装等(安全、衛生的、周りの人等に不快な印象を与えない) <input type="checkbox"/> 返事をする  <b>資機材準備</b> <input type="checkbox"/> 必要な資機材を選択(黄タオル、白タオル、作業表示板)し、資機材置き場に置く <input type="checkbox"/> タオルは広げて、資機材置き場に置く		審査員「☆☆◇◇さん、マットの上に立ってください。」 審査員「準備を始めてください。」 【時間計測開始】 ・バケツは、3分の1程度、水を入れ、資機材置き場付近の床に準備しておきます。 ・バケツの水が大量こぼれ、滑る危険性があると審査員が判断した場合は、「検定中止」となります。  審査員「始めてください。」	
		2	<b>審査員に開始を報告する</b> <input type="checkbox"/> 準備ができたことを報告する <input type="checkbox"/> 学校名と氏名を伝え、「始めます。」等と報告する <input type="checkbox"/> 姿勢を正し、聞こえる声の大きさと報告する		・準備完了の報告があったが準備が完全ではない場合や、準備開始の指示から2分経過した場合、審査員から1回のみ「準備に足りないところがあります。」「準備の仕方が分かりますか。」等と伝えます。その後、正しく準備をやり直した場合、評価は○になりますが、準備をやり直したが、準備が不十分な場合や、準備の仕方が分からなくなった場合は、審査員が教えます。その場合、「資機材準備」の評価が×となりますが、その後の検定は継続できます。	
8級 ～ 1級	準備	3	<b>作業表示板準備</b> <input type="checkbox"/> 試技コート入口付近に、表示が見えるよう作業表示板を置く (歩行者から見える場所、歩行者、試技者の妨げにならない場所)			
		4	<b>タオルをたたむ</b> <input type="checkbox"/> タオルを8つ折にする <input type="checkbox"/> タオルの端がおおよそ、そろっている			
		5	<b>タオルを絞る</b> <input type="checkbox"/> 黄タオルをぬらす <input type="checkbox"/> ハットと同じ握り方 <input type="checkbox"/> 腕を伸ばしながら内側に絞る(完全に伸びていなくてもよい) <input type="checkbox"/> 黄タオルをしっかり絞る(×水滴が落ちる) <input type="checkbox"/> 手に付いている水滴を黄タオルで拭く <input type="checkbox"/> タオルは、床に置かない(×床にこぼれた水をタオルで拭いた)			
		6	<b>タオル絞りの姿勢</b> <input type="checkbox"/> 片膝を着く <input type="checkbox"/> 床にべたっとすねを着けない			
		7	<b>濡れ拭き (黄タオル)</b> <input type="checkbox"/> 黄タオルで力を入れて拭く <input type="checkbox"/> 左奥の角から、天板の側面を含めて、ふちを一周拭く(右手で拭く場合)※左手で拭く場合は、右奥の角から <input type="checkbox"/> タオルの拭く面を変える <input type="checkbox"/> 自分から遠いところから、左右に「横・縦・横・縦」の順で、まっすぐ拭く		・拭いている途中でタオルを床に落としてしまった場合、タオルを床に触れていない面に変えて拭きます。面を変えずに拭いた場合、「タオルの拭く面を変える」評価が×となります。	
		8	<b>乾拭き (白タオル)</b> <input type="checkbox"/> 白タオルで力を入れて拭く <input type="checkbox"/> 左奥の角から、天板の側面を含めて、ふちを一周拭く(右手で拭く場合)※左手で拭く場合は、右奥の角から <input type="checkbox"/> タオルの拭く面を変える <input type="checkbox"/> 自分から遠いところから、上下に「縦・横・縦・横」の順で、まっすぐ拭く			
	テーブル 拭き	9	<b>水平面の タオルの持ち方等</b> <input type="checkbox"/> タオルのばらけている方を親指ではさんで拭く <input type="checkbox"/> 指を広げて拭く <input type="checkbox"/> 手の平をタオルに着けて拭く <input type="checkbox"/> 手をタオルの中心に置いて拭く <input type="checkbox"/> 使っていないタオルは持ったまま拭く			
		10	<b>仕上がり等</b> <input type="checkbox"/> 拭き残しがない <input type="checkbox"/> 拭き跡が少し重なるようにする <input type="checkbox"/> 同じ場所を2回以上拭かない <input type="checkbox"/> 手を着いた場合は、拭き取る		・往復運動やふちを拭くときに、同じ場所を2回以上拭いたり、2周以上拭いたりした場合、評価は×となります。テーブルの大きさにより、手前で拭き終わるために同じところを拭いてしまう場合等は、評価の対象外です。	
		片付け	11	<b>片付け・報告</b> <input type="checkbox"/> 資機材を資機材置き場にもどす <input type="checkbox"/> 姿勢を正し、聞こえる声で「終わりました。」等と報告する		【時間計測終了】
		確認	12	<b>行動等</b> <input type="checkbox"/> 効率のよい作業(×標準時間を超える) <input type="checkbox"/> 試技中(作業中)に走らない <input type="checkbox"/> 幅木や養生テープをまたがない(×身体を通過させる) <input type="checkbox"/> 適切な資機材の扱いをする(×資機材を引きずって移動させる)		・幅木や養生テープは、部屋の壁を表しています。入退室のときや作業中に、養生テープ等の上をまたいだ(身体を通過させた)場合、評価は×となります。資機材は通過しても評価の対象とはなりません。試技後の受検者へのアドバイスで伝えましょう。

受検者へのアドバイス

評価対象の○の数

個

試技時間： 分 秒

○の数	0個	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7・8個	9・10個	11個	12個
級	級なし	10級	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級

※評価項目ごとの評価内容をすべてクリアすることで、課題に合格したものとし、評価の欄に○が付きます。  
 ※評価項目1及び2に合格した場合に、3以降の課題が評価対象となります。

# 清掃技能検定＜自在ぼうき＞評価表(十訂版)

【制限時間:10分00秒(標準時間:7分00秒)】

【評価のポイント】  
 ○安全で、衛生的で、効率的に清掃作業ができたか ○床を自在ぼうきと文化ちりとりできれいにできたか

※制限時間:検定時間(制限時間を超えると試技の途中でも検定は終了となります)  
 ※標準時間:効率のよい作業としての目安時間(標準時間を超えると「効率のよい作業」の評価対象となります)

検定日:令和 年 月 日( ) ( )立( )特別支援学校( ) 生徒氏名( )

級	検定の流れ	項目番号	評価項目	評価内容(できていない箇所に○する)	評価	審査員等のセリフ 留意事項等
10級 ～ 9級	資機材 準備	1	<b>服装等</b> <b>資機材準備</b>	<input type="checkbox"/> 適切な服装等(安全、衛生的、周りの人等に不快な印象を与えない) <input type="checkbox"/> 返事をする  <input type="checkbox"/> 必要な資機材を選択(自在ぼうき、文化ちりとり、作業表示板)し、資機材置き場に置く <input type="checkbox"/> 自在ぼうきの柄の先端がおおよそ、鼻からあごの間の位置で、使いやすい長さに調節してから、資機材置き場に置く		審査員「☆☆◇◇さん、マットの上に乗ってください。」 審査員「準備を始めてください。」 【時間計測開始】
		2	<b>審査員に開始を報告する</b>	<input type="checkbox"/> 準備ができたことを報告する <input type="checkbox"/> 学校名と氏名を伝え、「始めます。」等と報告する <input type="checkbox"/> 姿勢を直し、聞こえる声の大きさと報告する		審査員「始めてください。」  ・準備完了の報告があったが準備が完全ではない場合や、準備開始の指示から2分経過した場合、審査員から1回のみ「準備に足りないところがあります。」「準備の仕方が分かりますか。」等と伝えます。その後、正しく準備をやり直した場合、評価は○になりますが、準備をやり直したが、準備が不十分な場合や、準備の仕方が分からなくなった場合は、審査員が教えます。その場合、「資機材準備」の評価が×となりますが、その後の検定は継続できます。
8級 ～ 1級	準備	3	<b>作業表示板準備</b>	<input type="checkbox"/> 試技コート入口付近に、表示が見えるよう作業表示板を置く (歩行者から見える場所、歩行者、試技者の妨げにならない場所)		
	ほうき 掃き	4	<b>持ち方</b>	<input type="checkbox"/> 柄の先端を親指で押さえる(反時計回りに掃く場合は左手親指/時計回りに掃く場合は右手親指) <input type="checkbox"/> 反対の手は順手で柄の下方を握る(添える)(反時計回りに掃く場合は右手/時計回りに掃く場合は左手)		
		5	<b>入口正面を掃く</b>	<input type="checkbox"/> 自分の足が入る前に、横に2～3回掃き、歩くスペースを確保する		
		6	<b>部屋を掃く (L字掃き)</b>	<input type="checkbox"/> 自分のかかとのやや後方から始める <input type="checkbox"/> 幅木(養生テープ)に沿って、前方に掃く <input type="checkbox"/> つまさきの前までほうきを出す <input type="checkbox"/> そこから真横に掃く		
		7	<b>部屋の隅を掃く</b>	<input type="checkbox"/> ほうきの横木の壁(幅木、養生テープ)側を斜めに先行させながら、部屋の隅、角ぎりぎりまで掃く		
		8	<b>掃き方1</b>	<input type="checkbox"/> 掃いた後は、床にトントンと2回程度ほうきをたたきつけ、毛先に付いたゴミを落とす <input type="checkbox"/> ほうきは両面を使用しない(同じ面のみを使用する) <input type="checkbox"/> ほうきの横木が幅木に当たったり、養生テープを越えたりしない <input type="checkbox"/> 決められたコースで掃く		
		9	<b>掃き方2 (押さえばき)</b>	<input type="checkbox"/> 毛先を押し付けるのではなく、軽く押さえる <input type="checkbox"/> 掃き終わりに、毛先を振り上げない(毛先が床から離れない、ゴミをはね上げない)		
		10	<b>残ったゴミの処理 点検</b>	<input type="checkbox"/> 正しい構えでほうきを持つ(脇ではさむ、腕ではさむ、肩で支える) <input type="checkbox"/> 文化ちりとりの中に、ほうきの先半分を入れる <input type="checkbox"/> ほうきは両面を使用しない(同じ面のみを使用する) <input type="checkbox"/> ゴミの取り残しがない <input type="checkbox"/> 指さし点検をする(無声でも可)		
		片付け	11	<b>片付け・報告</b>	<input type="checkbox"/> 資機材を資機材置き場にもどす <input type="checkbox"/> 姿勢を直し、聞こえる声で「終わりました。」等と報告する	
	確認	12	<b>行動等</b>	<input type="checkbox"/> 効率のよい作業(×標準時間を超える) <input type="checkbox"/> 試技中(作業中)に走らない <input type="checkbox"/> 幅木や養生テープをまたがない(×身体を通過させる) <input type="checkbox"/> 適切な資機材の扱いをする(×資機材を引きずって移動させる)		・幅木や養生テープは、部屋の壁を表しています。入退室のときや作業中に、養生テープ等の上をまたいだ(身体を通過させた)場合、評価は×となります。資機材は通過しても評価の対象とはなりません。試技後の受検者へのアドバイスで伝えましょう。
受検者へのアドバイス				評価対象の○の数	個	試技時間: 分 秒

○の数	0個	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7・8個	9・10個	11個	12個
級	級なし	10級	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級

※評価項目ごとの評価内容をすべてクリアすることで、課題に合格したものとし、評価の欄に○が付きます。  
 ※評価項目1及び2に合格した場合に、3以降の課題が評価対象となります。

# 清掃技能検定<モップ>評価表(十訂版)

【制限時間:10分00秒(標準時間:7分00秒)】

【評価のポイント】  
 ○安全で、衛生的で、効率的に清掃作業ができたか ○床をモップできれいに拭けたか

※制限時間:検定時間(制限時間を超えると試技の途中でも検定は終了となります)  
 ※標準時間:効率のよい作業としての目安時間(標準時間を超えると「効率のよい作業」の評価対象となります)

検定日:令和 年 月 日( ) ( )立( )特別支援学校( ) 生徒氏名( )

級	検定の流れ	項目番号	評価項目	評価内容(できていない箇所に○する)	評価	審査員等のセリフ 留意事項等		
10級 ~ 9級	資機材 準備	1	服装等	<input type="checkbox"/> 適切な服装等(安全、衛生的、周りの人等に不快な印象を与えない) <input type="checkbox"/> 返事をする		審査員「☆☆◇さん、マットの上に乗って下さい。」 審査員「準備を始めてください。」 【時間計測開始】		
			資機材準備	<input type="checkbox"/> 必要な資機材を選択(房系(横木白色)、柄、作業表示板)し、資機材置き場に置く <input type="checkbox"/> モップの柄の先端がおおよそ、鼻からあごの間の位置で、使いやすい長さに調節してから、資機材置き場に置く				
8級 ~ 1級	準備	3	作業表示板準備	<input type="checkbox"/> 試技コート入口付近に、表示が見えるよう作業表示板を置く (歩行者から見える場所、歩行者、試技者の妨げにならない場所)		審査員「始めてください。」 ・準備完了の報告があったが準備が完全ではない場合や、準備開始の指示から2分経過した場合、審査員から1回のみ「準備に足りないところがあります。」「準備の仕方が分かりますか。」等と伝えます。その後、正しく準備をやり直した場合、評価は○になりますが、準備をやり直したが、準備が不十分な場合や、準備の仕方が分からなくなった場合は、審査員が教えます。その場合、「資機材準備」の評価が×となりますが、その後の検定は継続できます。		
			房系を絞る等	<input type="checkbox"/> 房系をしっかり絞る(×水滴が落ちる) <input type="checkbox"/> 絞り終わったら房系を、手ぐしやゆらして、まっすぐに整える				
			房系のセット	<input type="checkbox"/> 柄に房系を取り付け、柄のピンチ部と房系のジョイント部をしっかり固定する (×作業途中で、ジョイント部から「カチツ」と音がする等、しっかりと固定されていない)				
	モップ 掛け	4	4	持ち方	<input type="checkbox"/> 親指で柄の先端を押さえる <input type="checkbox"/> 反対の手は順手で柄の下方を握る(添える) <input type="checkbox"/> 壁(幅木、養生テープ)際を拭く場合は、柄の先端が肩付近になるように持つ		・房系から水滴が落ちない程度に絞ることが大切です。水滴が落ちていてもそのまま検定は継続しますが、絞る作業の評価は×となります。	
				5	壁際の拭き方			<input type="checkbox"/> 房系を横木より後ろにし、押しながら拭く
				6	部屋の隅の拭き方			<input type="checkbox"/> 右膝を着く <input type="checkbox"/> 柄を左肩に引きつける <input type="checkbox"/> 房系に右手を添えて拭く
				7	机の脚周りの拭き方			<input type="checkbox"/> 左膝を着く <input type="checkbox"/> 柄を右肩に引きつける <input type="checkbox"/> 房系を左手で持って拭く
				8	机の下の拭き方			<input type="checkbox"/> 柄を持ち、反対の手は順手で柄の下方を握り(添え)ながら拭く
				9	中央・出入口の拭き方			<input type="checkbox"/> 拭き幅の中央付近に立ち、横一直線に拭く <input type="checkbox"/> 半歩(靴の半分)ずつ後退しながら拭く <input type="checkbox"/> 同じ面を拭いているときには、横木を浮かさない <input type="checkbox"/> 拭き跡を少し重ねる <input type="checkbox"/> 房系を時々ひっくり返す <input type="checkbox"/> 出入口付近は房系を手で持って拭く
				10	仕上がり等			<input type="checkbox"/> 拭き残しがない <input type="checkbox"/> 拭いたあとを踏まない <input type="checkbox"/> 決められたコースで拭く <input type="checkbox"/> 房系が幅木に触れない(房系が養生テープを完全に超えない) <input type="checkbox"/> 机(机の脚)に柄や房系を当てない
片付け	11	片付け・報告	<input type="checkbox"/> 房系をはずし、資機材を資機材置き場にもどす <input type="checkbox"/> 姿勢を正し、聞こえる声で「終わりました。」等と報告する	【時間計測終了】				
確認	12	行動等	<input type="checkbox"/> 効率のよい作業(×標準時間を超える) <input type="checkbox"/> 試技中(作業中)に走らない <input type="checkbox"/> 幅木や養生テープをまたがない(×身体を通過させる) <input type="checkbox"/> 適切な資機材の扱いをする(×資機材を引きずって移動させる)	・幅木や養生テープは、部屋の壁を表しています。入退室のときや作業中に、養生テープ等の上をまたいだ(身体を通過させた)場合、評価は×となります。資機材は通過しても評価の対象とはなりません。試技後の受検者へのアドバイスで伝えましょう。				

受検者へのアドバイス

評価対象の○の数

試技時間: 分 秒

○の数	0個	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7・8個	9・10個	11個	12個
級	級なし	10級	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級

※評価項目ごとの評価内容をすべてクリアすることで、課題に合格したものとし、評価の欄に○が付きます。  
 ※評価項目1及び2に合格した場合に、3以降の課題が評価対象となります。

# 清掃技能検定<ダスタークロス>評価表(十訂版)

【制限時間:10分00秒(標準時間:7分00秒)】

【評価のポイント】  
 ○安全で、衛生的で、効率的に清掃作業ができたか ○床をダスタークロスできれいにできたか

※制限時間:検定時間(制限時間を超えると試技の途中でも検定は終了となります)  
 ※標準時間:効率のよい作業としての目安時間(標準時間を超えると「効率のよい作業」の評価対象となります)

検定日:令和 年 月 日( ) ( )立( ) 特別支援学校( ) 生徒氏名( )

級	検定の流れ	項目番号	評価項目	評価内容(できていない箇所を○にする)	評価	審査員等のセリフ 留意事項等	
10級 ～ 9級	資機材 準備	1	<b>服装等</b>	<input type="checkbox"/> 適切な服装等(安全、衛生的、周りの人等に不快な印象を与えない) <input type="checkbox"/> 返事をする		審査員「☆☆◇◇さん、マットの上に立ってください。」 審査員「準備を始めてください。」 【時間計測開始】	
			<b>資機材準備</b>	<input type="checkbox"/> 必要な資機材を選択(クロス、ヘッド、柄、自在ぼうき、文化ちりとり、作業表示板)し、資機材置き場に置く <input type="checkbox"/> ダスタークロスの柄の先端がおおよそ、あごから首の間の位置で、使いやすい長さ調節してから、資機材置き場に置く。 <input type="checkbox"/> 自在ぼうきの柄の先端がおおよそ、鼻からあごの間の位置で、使いやすい長さ調節してから、資機材置き場に置く			
			<b>クロスの設定</b>	<input type="checkbox"/> クロスをヘッドの中央に装着する <input type="checkbox"/> 4か所のヘッドピンチにクロスをはさみ、たるみなくクロスを留める			
		2	<b>審査員に開始を報告する</b>	<input type="checkbox"/> 準備ができたことを報告する <input type="checkbox"/> 学校名と氏名を伝え、「始めます。」等と報告する <input type="checkbox"/> 姿勢を正し、聞こえる声の大きさを報告する		審査員「始めてください。」  ・準備完了の報告があったが準備が完全ではない場合や、準備開始の指示から2分経過した場合、審査員から1回のみ「準備に足りないところがあります。」「準備の仕方が分かりますか。」等と伝えます。その後、正しく準備をやり直した場合、評価は○になりますが、準備をやり直したが、準備が不十分な場合や、準備の仕方が分からなくなった場合は、審査員が教えます。その場合、「資機材準備」の評価が×となりますが、その後の検定は継続できます。	
8級 ～ 1級	準備	3	<b>作業表示板準備</b>	<input type="checkbox"/> 試技コート入口付近に、表示が見えるよう作業表示板を置く (歩行者から見える場所、歩行者、試技者の妨げにならない場所)			
			<b>ヘッドの設定</b>	<input type="checkbox"/> 柄にヘッドを取り付け、柄のピンチ部とヘッドのジョイント部をしっかりと固定する (×作業途中で、ジョイント部から「カチッ」と音がする等、しっかりと固定されていない)			
	ダスター クロス 掛け	片付け	4	<b>持ち方</b>	<input type="checkbox"/> 親指で柄の先端を押さえる <input type="checkbox"/> 反対の手は順手で柄の下方を握る(添える) <input type="checkbox"/> ダスタークロスを押して拭くときは、柄の先端が肩付近になるように持つ		
			5	<b>壁際の拭き方</b>	<input type="checkbox"/> ヘッドの長いほうを前にして拭く <input type="checkbox"/> ヘッドの壁(幅木、養生テープ)側を先行させて拭く		
			6	<b>部屋の隅の拭き方</b>	<input type="checkbox"/> ヘッドの壁(幅木、養生テープ)側を先行させながら、部屋の隅、角ぎりぎりまで拭く		
			7	<b>中央の拭き方</b>	<input type="checkbox"/> ヘッドを半回転させ、左右に振りながら拭く <input type="checkbox"/> ヘッドの長いほうでゴミを取る		
			8	<b>クロス処理</b>	<input type="checkbox"/> コート内で柄からヘッドをはずす <input type="checkbox"/> ヘッドからクロスをはずす <input type="checkbox"/> クロスを両手で手前にひっくり返し、汚れた面を内側にしたたむ(×ゴミの上にひっくり返す) <input type="checkbox"/> ゴミ箱に捨てる		
			9	<b>残ったゴミの処理 点検</b>	<input type="checkbox"/> 正しい構えでぼうきを持つ(脇ではさむ、腕ではさむ、肩で支える) <input type="checkbox"/> 文化ちりとりの中に、ぼうきの先半分を入れる <input type="checkbox"/> ぼうきは両面を使用しない(同じ面のみを使用する) <input type="checkbox"/> 指さし点検をする(無声でも可)		
			10	<b>仕上がり等</b>	<input type="checkbox"/> ゴミの取り残しがない <input type="checkbox"/> ダスタークロスで拭くときは、後退しない <input type="checkbox"/> クロスを浮かさない <input type="checkbox"/> ゴミの上を歩かず、拭いたあとを歩く <input type="checkbox"/> 決められたコースで拭く(入口は半円を描くように拭く、全面を拭く) <input type="checkbox"/> 養生テープの場合、ヘッドが養生テープを完全に超えない <input type="checkbox"/> 机(机の脚)にダスタークロスの柄を当てない <input type="checkbox"/> 机(机の脚)にぼうきの柄や横木を当てない		
			11	<b>片付け・報告</b>	<input type="checkbox"/> 資機材を資機材置き場にもどす <input type="checkbox"/> 姿勢を正し、聞こえる声で「終わりました。」等と報告する		【時間計測終了】
			12	<b>行動等</b>	<input type="checkbox"/> 効率のよい作業(×標準時間を超える) <input type="checkbox"/> 試技中(作業中)に走らない <input type="checkbox"/> 幅木や養生テープをまたがない(×身体を通過させる) <input type="checkbox"/> 適切な資機材の扱いをする (×資機材を引きずって移動させる ×ヘッドのスポンジ面を下にして床や資機材置き場に置く)		・幅木や養生テープは、部屋の壁を表しています。入退室のときや作業中に、養生テープ等の上をまたいだ(身体を通過させた)場合、評価は×となります。資機材は通過しても評価の対象とはなりません。試技後の受検者へのアドバイスで伝えましょう。

受検者へのアドバイス

評価対象の○の数

試技時間: 分 秒

○の数	0個	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7・8個	9・10個	11個	12個
級	級なし	10級	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級

※評価項目ごとの評価内容をすべてクリアすることで、課題に合格したものとし、評価の欄に○が付きます。  
 ※評価項目1及び2に合格した場合に、3以降の課題が評価対象となります。

# 清掃技能検定<スクイージー>評価表(十訂版)

【制限時間：15分00秒(標準時間：11分00秒)】

【評価のポイント】  
 ○安全で、衛生的で、効率的に清掃作業ができたか ○窓と窓枠をスクイージーとタオルできれいにできたか

※制限時間：検定時間(制限時間を超えると試技の途中でも検定は終了となります)  
 ※標準時間：効率のよい作業としての目安時間(標準時間を超えると「効率のよい作業」の評価対象となります)

検定日：令和 年 月 日( ) ( )立( )特別支援学校( ) 生徒氏名( )

級	検定の流れ	項目番号	評価項目	評価内容(できていない箇所には○する)	評価	審査員等のセリフ 留意事項等
10級 ~ 9級	資機材準備	1	<b>服装等</b> <input type="checkbox"/> 適切な服装等(安全、衛生的、周りの人等に不快な印象を与えない) <input type="checkbox"/> 返事をする  <b>資機材準備</b> <input type="checkbox"/> 必要な資機材を選択(スクイージー、黄タオル、白タオル、収納ケース、作業表示板)し、資機材置き場に置く <input type="checkbox"/> タオルは広げて、資機材置き場に置く			審査員「☆☆◇さん、マットの上に立ってください。」 審査員「準備を始めてください。」 【時間計測開始】  ・システムバケツは、3分の1程度、水を入れ、資機材置き場付近の床に準備しておきます。 ・バケツの水が大量こぼれ、滑る危険性があると審査員が判断した場合は、「検定中止」となります。
		2	<b>審査員に開始を報告する</b> <input type="checkbox"/> 準備ができたことを報告する <input type="checkbox"/> 学校名と氏名を伝え、「始めます。」等と報告する <input type="checkbox"/> 姿勢を正し、聞こえる声の大きさを報告する			審査員「始めてください。」  ・準備完了の報告があったが準備が完全ではない場合や、準備開始の指示から2分経過した場合、審査員から1回のみ「準備に足りないところがあります。」「準備の仕方が分かりますか。」等と伝えます。その後、正しく準備をやり直した場合、評価は○になりますが、準備をやり直したが、準備が不十分な場合や、準備の仕方が分からなくなった場合は、審査員が教えます。その場合、「資機材準備」の評価が×となりますが、その後の検定は継続されます。
8級 ~ 1級	準備	3	<b>作業表示板準備</b> <input type="checkbox"/> 試技コート入口付近に、表示が見えるよう作業表示板を置く(歩行者から見える場所、歩行者、試技者の妨げにならない場所)  <b>タオルの準備等</b> <input type="checkbox"/> タオル(黄・白)をたたむ(タオルを8つ折にする、タオルの端をおおよそ、そろえる) <input type="checkbox"/> 収納ケースに資機材を入れる(8つ折にしたタオル(黄・白)、スクイージー) <input type="checkbox"/> 収納ケースとシステムバケツを作業の妨げにならないガラス台付近に持ち運ぶ			
		4	<b>水拭き</b> <input type="checkbox"/> 黄タオルをゆるめに絞る <input type="checkbox"/> 決められたコースを拭き残しがないように拭く <input type="checkbox"/> 途中でタオルの拭く面を変える  <b>タオルを絞る</b> <input type="checkbox"/> 黄タオルを水ですすいで、しっかり絞る(×水滴が落ちる)  <b>タオルの絞り方 ガラス面のタオルの持ち方</b> <input type="checkbox"/> 正しく絞る(バットと同じ握り方、腕を伸ばしながら内側に絞る(完全に伸びていなくてもよい)、手に付いている水滴を黄タオルで拭く、タオルを床に置かない) <input type="checkbox"/> 正しい姿勢で絞る(片膝を着く、床にべたっとすねを着けない) <input type="checkbox"/> タオルを正しく持つ(タオルのばらけている方を親指ではさむ、指を広げる、手の平をタオルに着ける、手をタオルの中心に置く)			
		5	<b>スクイージー作業(縦)</b> <input type="checkbox"/> 左側(作業の終わった側)のゴム刃を3cm程度傾け、先行させる(左上から作業をした場合)※右上から作業した場合は、逆 <input type="checkbox"/> 下枠から10~20cm程度残して止める <input type="checkbox"/> 引き跡は5cm程度重ねる <input type="checkbox"/> 膝を使う <input type="checkbox"/> 下枠から10~20cm付近(スクイージーを止めた付近)に溜まった余分な水をタオルで拭く			
	6	<b>スクイージー作業(横)</b> <input type="checkbox"/> スクイージーの上部を3cm程度進行方向に傾ける <input type="checkbox"/> 窓枠下部にタオルを添えて引く <input type="checkbox"/> 縦枠まで15cm程度残す				
	7	<b>スクイージー作業(扇形)</b> <input type="checkbox"/> 右下コーナー(右上から作業をする場合は、左下コーナー)へスクイージーを立てて、扇形に引き下ろす <input type="checkbox"/> 窓枠下部にタオルを添えて引く				
	8	<b>窓枠を拭く</b> <input type="checkbox"/> 黄タオルを水ですすいで、しっかり絞る(×水滴が落ちる) <input type="checkbox"/> 黄タオルを16折にし、窓枠を左上から時計回りに(右上から作業をする場合は反時計回りに)往復動作で水拭きする <input type="checkbox"/> 白タオルを16折にし、窓枠を左上から時計回りに(右上から作業をする場合は反時計回りに)往復動作で乾拭きする <input type="checkbox"/> タオルをガラス面に付けない				
	9	<b>窓のふちを拭く</b> <input type="checkbox"/> 白タオルを2つ折にし、中に人差し指を入れ、ガラスのふちを左上から時計回りに(右上から作業をする場合は反時計回りに)乾拭きする <input type="checkbox"/> 一辺を拭くごとに、白タオルのきれいなところを出して拭く <input type="checkbox"/> ガラス面に手や腕、タオルの下部分(乾拭きしていない部分)が触れない				
	10	<b>仕上がり等点検</b> <input type="checkbox"/> ガラス面や窓枠に水や汚れが残っていない(×窓枠を拭いていない箇所がある、×スクイージー後、黄タオルでガラス面を拭く) <input type="checkbox"/> スクイージーを引く際は、ゴム刃を軽く押し付ける(×音が初めから最後まで鳴り続ける) <input type="checkbox"/> スクイージーを引く途中で止めない(引き始めのゴム刃を傾げる際も止めない)、浮かさない <input type="checkbox"/> スクイージーを引くたびに、ゴム刃の端から端までを、下から上に黄タオルで拭く <input type="checkbox"/> 指差し点検をする(無声でも可) <input type="checkbox"/> 黄タオルを水ですすいで、しっかり絞る(×水滴が落ちる)、補強棒と床、システムバケツの周りを水拭きする				
	片付け	11	<b>片付け・報告</b> <input type="checkbox"/> 資機材を資機材置き場にもどす(収納ケースからスクイージーとタオルを出す)(収納ケースは、机付近の床にもどしてもよい) <input type="checkbox"/> 姿勢を正し、聞こえる声で「終わりました。」等と報告する			【時間計測終了】
	確認	12	<b>行動等</b> <input type="checkbox"/> 効率のよい作業(×標準時間を超える) <input type="checkbox"/> 試技中(作業中)に走らない <input type="checkbox"/> 幅木や養生テープをまたがない(×身体を通過させる) <input type="checkbox"/> 適切な資機材の扱いをする(×資機材を引きずって移動させる、×スクイージーのゴム刃を下にして資機材置き場に置く)			・幅木や養生テープは、部屋の壁を表しています。入退室のときや作業中に、養生テープ等の上をまたいだ(身体を通過させた)場合、評価は×となります。資機材は通過しても評価の対象とはなりません。試技後の受検者へのアドバイスで伝えましょう。

受検者へのアドバイス

評価対象の○の数

試技時間： 分 秒

○の数	0個	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7・8個	9・10個	11個	12個
級	級なし	10級	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級

※評価項目ごとの評価内容をすべてクリアすることで、課題に合格したものとし、評価の欄に○が付ききます。  
 ※評価項目1及び2に合格した場合に、3以降の課題が評価対象となります。